

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
相談援助	演習	1	人見 禎昭
【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ: 保育者と保護者が互いに関係を作るための技術、及び知識について学びを深める。 理論的な援助技術をもとに、実践的なコミュニケーションのあり方、面接の行い方を身に付ける。 到達目標: 具体的な事例検討を通して保育相談の理解と技術を身に付ける。			
【授業の概要】 保育の領域では、子どもの支援のみならず保護者・地域への援助と実践の範囲が広がり、ソーシャルワークスキルを用いた対応が求められてきている。保育現場では、子育てや保育に関わる相談を受けることも多く、保護者(相談者)との関係を構築しながら、相手や場面、環境に合わせて、相談と助言、関係機関との調整を展開していくことが求められる。 保育士の役割が地域で重要視されているため、より具体的で実践的な学びを行うこととする。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション			
2. 相談援助の意義			
3. 相談援助の基本			
4. 相談援助の機能			
5. 保育とソーシャルワーク			
6. 相談援助の対象			
7. 相談援助の過程			
8. 相談援助の技術とアプローチ			
9. 相談援助における計画・記録・評価			
10. 相談援助における関係機関・専門職との連携			
11. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発			
12. 相談援助の事例Ⅰ—保育所—			
13. 相談援助の事例Ⅱ—児童養護施設—			
14. 相談援助の事例Ⅲ—子育て支援機関—			
15. まとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 教科書を事前に読み、学びを深める			
学習のあり方: 積極的に質問をし、対話型の授業とする。			
復習のあり方: ノートや教科書、配布資料を振り返る。			
【成績評価】 平常試験(50%) 受講態度(30%) 提出物など(20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 レポート課題に関しては、評価後に学生に返却しフィードバックを行う。その他、学生からの要望があれば適宜必要に応じてフィードバックを行う。			
【テキスト】 相沢譲治/井村圭壯/安田誠人編者『児童家庭福祉の相談援助』建帛社			
【参考文献】 適宜紹介する			